

第1回 亶理町総合発展計画審議会 議事録

【開催概要】

日 時：令和6年11月18日（月）午後3時～午後4時40分

会 場：亶理町役場1階多目的スペース

委 員：

	団体／組織等・役職	氏 名	出欠
1	公立大学法人宮城大学 教授	郷 古 雅 春	
2	公立大学法人宮城大学 准教授	宮 崎 義 久	
3	亶理消防署 消防署長	吉 田 雅 之	
4	宮城県亶理警察署 署長	加 藤 俊 明	
5	亶理町災害防止協議会 会長	千 石 勇	
6	亶理町女性防火クラブ連合会 会長	平 間 文 子	
7	亶理地区区長会 会長	小 林 博 明	欠席
8	荒浜地区区長会 会長	渡 部 幸 造	
9	吉田地区区長会 副会長	安 住 博	
10	逢隈地区区長会 会長	高 野 治 夫	
11	亶理地区まちづくり協議会 会長	佐 藤 徳 美	欠席
12	荒浜地区まちづくり協議会 会長	櫻 井 幸 次	
13	吉田西部地区まちづくり協議会 会長	鈴 木 達 朗	
14	吉田東部地区まちづくり協議会 会長	福 本 眞	
15	逢隈地区まちづくり協議会 会長	樋 口 一 志	
16	亶理町民生委員・児童委員協議会 会長	岡 崎 正 利	欠席
17	亶理町シニアクラブ連合会 副会長	坂 本 盛 雄	
18	子ども・子育て支援審議会 会長	藤 本 由 紀 子	
19	亶理子育て応援クラブ（吉田子育て応援クラブ） 会員	佐々木愛美	欠席
20	亶理町社会福祉協議会 会長	陰 山 俊 明	
21	亶理郡医師会 会長	板 橋 敏 之	
22	亶理町食生活改善推進協議会 副会長	森 順 子	
23	亶理町農業委員会 会長	伊 藤 富 敏	欠席
24	亶理土地改良区 理事長	日 下 正 博	
25	みやぎ亶理農業協同組合 代表理事組合長	大 堀 正 信	
26	みやぎ亶理農業協同組合女性部 部長	佐々木千賀子	
27	亶理町認定農業者連絡協議会 会長	加 藤 憲 一	欠席
28	亶理町農産加工推進協議会 副会長	安 住 郁 子	
29	宮城県漁業協同組合仙南支所（亶理） 運営委員長	菊 地 幹 彦	
30	宮城県漁業協同組合仙南支所（亶理） 水産加工研究会 会長	木 村 光 子	欠席

31	亙理ロータリークラブ 幹事	刈谷文俊	
32	亙理ライオンズクラブ 会長	黒崎敏郎	
33	わたり創生会 理事	萩野志津江	
34	社団法人あぶくま青年会議所 副理事長	渡辺 涼	
35	亙理山元商工会 副会長	門澤俊夫	
36	亙理山元商工会女性部 部長	横尾裕子	欠席
37	亙理山元商工会青年部 副部長	太田実穂	
38	あらはま塾 事務長	佐藤和弘	欠席
39	亙理町教育委員会 教育長職務代理者	富田栄子	
40	亙理町地域婦人団体連絡協議会 理事	大河原みつ子	
41	亙理町芸術文化協会 会長	富山剛久	欠席
42	亙理町PTA 連絡協議会 会長	後藤永吉	
43	亙理町立荒浜小学校父母教師会 会長	佐藤早苗	
44	亙理町スポーツ振興審議会 会長	末木清一	
45	国際交流協会わたり 代表	渡邊愛子	
46	一般公募	齋藤真奈美	
47	一般公募	籾池チャウダリー祐理佳	欠席
48	一般公募	涌井 栞	
49	一般公募	青田さとみ	欠席
50	一般公募	結城翔太	
51	一般公募	村上美香子	
52	一般公募	吉田昌博	
53	一般公募	山本美緒	

※53名中41名出席、出席者過半数のため会議は成立した。(条例第6条第2項関係)

事務局：

町長	山田周伸
企画課長	穴戸和博
企画課 企画班長	平塚ひろ美
企画課 主幹	齋 義弘
企画課 主査	鈴木秀知
企画課 主査	片岡 亮

支援業者：

ランドブレイン株式会社仙台事務所 専門技術監	姜 守範
ランドブレイン株式会社仙台事務所 主任補	鈴木千春

配布資料：

【次第】

【資料1】 亶理町総合発展計画審議会について

【資料2】 第6次亶理町総合発展計画及び次期総合戦略策定スケジュール(案)

【資料3】 総合発展計画の概要及び亶理町の現況について

【参考】 第5次亶理町総合発展計画（後期基本計画）

(以上、当日配付)

議事概要

○開会に先立ち、事務局の平塚班長から配付書類の確認を行った。

1. 委嘱状交付

○続いて、山田町長より審議会委員に対して委嘱状の交付を行った。

2. 開会

○事務局の平塚班長が進行し、会議を開会した。

3. あいさつ

○山田町長より「本日の第1回審議会を開催するにあたり、お忙しい中ご参集いただき感謝申し上げます。また、委嘱を快く引き受けていただき、重ねて御礼申し上げます。現在、町は平成28年からスタートした総合発展計画に基づき各種施策に取り組んでいるが、10年間の計画期間が令和7年度をもって満了となることから、令和8年度から始まるまちづくりの指針となる、第6次亶理町総合発展計画の策定に着手する必要がある。ご存じの通り、我々の暮らしているこの亶理町は海・山・川などの自然に恵まれ、先人たちが築いた歴史と伝統、文化を有する暮らしやすい町である。しかしながら、昨今の社会情勢を申し上げれば、少子高齢化の急速な進展とともに本格的な人口減少社会を迎え、これからの社会経済のあり方の抜本的な改革が叫ばれているが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響もあり、短期的に将来予想が難しい時代になっている。このような状況下でも、地域主権改革の推進に伴い地方においては地域の個性や特性を活かした自らの判断と責任において、独自のまちづくりを進めないといけない。様々な課題があるが、現在だけに注力してしまえば、将来につけを後回しにしてしまい、将来の町が立ち行かなくなる状況にもある。町民の意向を反映し、これからの10年・20年先のビジョンを見据えた町政運営の拠り所となる総合発展計画の作成に取り組んでまいりたい。今後は人口減少という課題を直視し、これからの町政運営は何を大切にしながら進めていくのか、これまでの計画とは違った視点をもって、より一層町民と共同で将来のあるべき姿を考えないといけない。本計画は、各種計画でも最上位に位置づけするものであり、活力と魅力にあふれた誇りをもって、次の世代に引き継ぎながら持続をさせるために、英知を集結して取り組んでいく所存である。先ほど委嘱状を交付したが、学識経験者2名、主要団体から43名、公募委員から8名の皆さまには、それぞれの立場や町民代

表の立場から忌憚のない意見を頂戴したく、お願い申し上げる。」とあいさつがあった。

4. 出席者紹介

- 事務局の平塚企画班長より、出席者名簿に基づき出席者を紹介した。(委員は委嘱状交付があったため省略した。)

5. 亶理町総合発展計画審議会について

- 事務局の鈴木主査より【資料1】に基づき説明を行った。

6. 会長・副会長の選任について

- 山田町長が仮議長となり、会長・副会長の選任方法について委員に諮ったところ、黒崎委員より事務局案の提示を求められたため、事務局の宍戸課長から会長に郷古雅春委員、副会長に門澤俊夫委員の案を提示した。

山田町長が委員に諮ったところ、全員異議なしということで、事務局案のとおり選任された。

- 会長・副会長が選任されたため、山田町長が仮議長を降りた。
- 郷古会長及び門澤副会長が席を中央に移動した。
- 郷古会長より「仕事の関係で、亶理町には30年近くお世話になっている。前回の計画策定時にも参加させていただいた。これから、皆さんの忌憚のない意見を頂戴しながら、これからの亶理の未来をつくる良い計画をつくっていききたい。会長を務めさせていただくにあたり3点考えがある。1つ目は、仙台でもない、亶理町が亶理町である質やクオリティを大切にしたい。仙台でもない、角田でもない良いところを次の世代に伝えていくことを考えていきたい。2つ目は、次の世代が育成できる仕組みを計画に入れて行ければと思っている。3つ目は、環境として厳しいため、今までの物も大事にしながら新しいものも作っていかねばいけない。そういった新しい社会デザインが生まれる計画になればいいと思っている。何を大切にして、次につないでいくのかということを考えて行ければと思っている。主語が私ではなく、私たちが考えて行ければと思っている。」続けて、門澤副会長より「挨拶ということだが、先ほど事務局から閉会の挨拶を頼まれたので、細かい挨拶は閉会に回させていただく。」とあいさつがあった。

7. 諮問

- 山田町長から郷古会長へ「第6次亶理町総合発展計画及び次期総合戦略の策定について、審議会の意見を求める。」と諮問文書を交付した。

8. 協議事項

- 郷古会長が議長となり、協議を進める。
 - 1) 第6次亶理町総合発展計画及び次期総合戦略の策定スケジュールについて
 - 鈴木主査より【資料2】を用いて内容を説明した。
 - 福本委員：【資料2】の14.住民説明会の開催と15.住民説明会の開催が重複している。
 - 鈴木主査：ご指摘の通り、修正する。

2) 総合発展計画の概要について【資料3】

3) 互理町の現況について【資料3】

- 事務局鈴木主査より【資料3】を用いて、(2)・(3)の内容を説明した。
 - 結城委員：昼間人口と夜間人口の定義の教えてほしい。
 - 鈴木主査：昼間人口は昼間に互理町にいる方で、夜間人口は夜間に互理町内にいる方の数としている。国勢調査に基づいている。
 - 会長：補足をすると、夜間人口は、昼間は仙台に通勤している方などをイメージしてもらいたい。他にどうか。
 - 鈴木委員：一番大きな問題は人口を増やしていくか、維持していくかと思っている。資料を作成していただいたが、令和2年の資料で言われても難しい。少なくとも令和5年度の資料があつてしかるべきだと思う。その辺りを次回お願いしたい。
 - 鈴木主査：様々な分野の数字を調査したため、国勢調査に基づいているため、人口等については最新の数値をご提供させていただく。
 - 会長：可能な限り、最新の数字でお願いしたい。事務局の説明について、意見はあるか。
 - 後藤委員：P.18について、平成27年をピークにと説明があったが、第2位次産業が突出しており、要因等はあるか。
 - 鈴木主査：次回までに調査し、報告させていただく。
 - 会長：割合についても、令和2年から令和3年にかけても減少しており、気になっている。
 - 宍戸課長：恐らく平成27年は復興事業がピークを迎えたくらいであるため、突出しているという見方ができるが、次回まで調査する。
 - 福本委員：データが令和2年の国勢調査で仕方ないが、これをもう少しクロスオーバーしたデータにしてほしい。人口減少については全員知っている。人口減少に対しては、どこにどのようにやっていくのかということを知るようなデータを作成してほしい。産業についても同じことが言える。ただの資料という形で終わっている。
 - 鈴木主査：今回は第1回目ということであり、概要だけをお伝えする予定だったため、このようになっている。アンケート調査結果等の資料も次回お示しできると考えている。
 - 会長：特に人口でいえば、階層等でクロスしたデータ等が必要ということ良いか。
 - 鈴木主査：今後検討させていただく。
 - 大河原委員：P.15のグラフについて、5歳階級別人口の推移について、15～19歳、20～24歳がガクンと落ちているが、読み取り方を教えてほしい。
 - ランドブレイン(鈴木)：平成17年から22年の青いグラフを見ていただきたい。15～19歳や20～24歳が一番下がっているが、そのタイミングで国勢調査を行っており、5年間の間に15～19歳だった人が20～24歳になるわけだが、この階層の方々がマイナス400となっている。つまり、400人以上が減っていることになるが、若い方々が5年前には今よりも400人以上いたが、いなくなったということである。亡くなった方も含む数字だが、一般的には外に出ていく方が多いと思われるため、大学や就職や世代の方々が20歳前後で外に出て行っているということを視覚的に分かるようにこのグラフを作成している。
 - 大河原委員：半分くらいは理解した。じっくりと見させていただきたい。
 - 菊地委員：20～24歳が就職等で外に出ているということでも理解して良いか。
 - 鈴木主査：その通りである。
 - 会長：配布されている第5次計画のP.105にも掲載されている。解説等も書いてあるため、お時間がある時に目を通してもらうのが良い。
 - 千石委員：第6次総合発展計画にあたり、今の現在行っている第5次の進捗や達成率がどのようになっているか提示していただくか、お答えしていただければと思う。
 - 鈴木主査：来年度までの計画期間である。また、実施計画について来年度新しくなるため、具体的な事業の執行状況も具体的に見えてくることから、併せて今後お示しさせていただく。
- 議事が終了したため、郷古会長が議長の座を降り、振興が事務局に戻された。

9. その他

○事務局鈴木主査より、次回の審議会予定について、今後の会議の通知方法等のアンケートについて説明した。

10. 閉会

○門澤副会長が閉会の挨拶を述べ、事務局平塚班長が閉会を宣言した。(午後 4 時 40 分)

